

(様式3)

事業所名: グループホーム諏訪形

目標達成計画

作成日: 令和6年8月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に要する期 間
1	35	災害時の職員の対応、地域との協力体制ができていない。	災害時に、地域住民・家族と円滑な対応が行えるようにする。	・災害マニュアルについて、職員への徹底を図る。また、防災訓練を通して確認する。 ・運営推進会議等において、地域住民・家族へ協力の依頼をする。 ・地域・家族合同での防災訓練を実施する。	6ヶ月
2	26	月1度のケアプラン作成について、家族の参加意識が低く、職員の意見で介護計画を作成している。	入居者のニーズに沿った、より良いサービスを提供できるようにする。	家族の参加を促し、入居者・家族の意見を反映させる。	6ヶ月
3	33	終末期の介護体制が構築されていない。	職員の意識と知識を高めることによって、終末期に向き合えるようにする。また、終末期を迎えるにあたり、家族・医療との連携をスムーズに行えるようにする。	・終末期に対応できるよう、職員の勉強会を行う。 ・家族・医療との協力体制を整える。	6ヶ月
4	4	運営推進会議について、家族の参加が殆どない。	運営推進会議の開催日時を検討する。また、レジュメや報告書の工夫を図る。	家族の疑問・悩み等を事前に調査して、運営推進会議で共有できるようにする。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。
複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。

(様式4)

サービス評価の実施と活用状況(振り返り)確認票

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「(様式3)目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		
実施段階		取 り 組 ん だ 内 容 (↓ 該当するものすべてに○印)
1	サービス評価の事前準備	☐ ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った。
		☐ ②利用者へサービス評価について説明した。
		☐ ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした。
		☐ ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した。
		☐ ⑤その他()
2	自己評価の実施	☐ ①自己評価を職員全員が実施した。
		☐ ②前回のサービス評価における「目標達成計画」で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った。
		☐ ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った。
		☐ ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った。
		☐ ⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	☐ ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった。
		☐ ②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた。
		☐ ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た。
		☐ ④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	☐ ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った。
		☐ ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った(話し合う)。
		☐ ③市町村又は広域連合へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(話し合う)。
		☐ ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った(話し合う)。
		☐ ⑤その他()
5	サービス評価の活用	☐ ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した。
		☐ ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニターを依頼した(する)。
		☐ ③「目標達成計画」を市町村又は広域連合へ説明、提出した(する)。
		☐ ④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)。
		☐ ⑤その他()